

防災塾・だるま
特別企画
講演・意見交換会

人的ネットワークによる防災まちづくりを提案 防災塾・だるま



横浜市の活動紹介と今後の課題

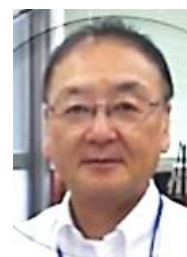


講師：横浜市危機管理監* 荒井 守 氏



災害が多発した2018年。行政の間でも、被災地に対して積極的な支援活動が行われました。西日本豪雨のときには、横浜市から岡山市へ応援職員が派遣されています。（被災市区町村応援職員確保システム）**

防災塾・だるまでは、11月27日（火）14：00より、神奈川大学にて、横浜市危機管理監* の荒井守氏から、横浜市による被災地への支援活動やその活動を通して見えてきたことなどをお話しいたします。その後みなさんとの意見交換も。どうぞ、お気軽に参加ください。



横浜市危機管理監*
荒井 守 氏

*危機管理監

一般に、災害等の危機管理業務を進めるにあたり、首長を補佐しながら、全庁的、総合的にその業務を実施していく際の中心となる役職です。

**被災市区町村応援職員確保システム

大規模災害の際、被災した市区町村の応急対応業務等を支援するために、一元的な調整の下、都道府県・指定市から、応援職員の派遣が行われます。

（総務省HP「被災地方公共団体に対する人的支援の取組」参照）

日時：2018年11月27日(火) 14：00～16：00

会場：神奈川大学1号館804号室
(横浜市神奈川区六角橋3丁目27-1)

参加費：無料
(資料代100円をいただきます)

申込み：不要
(直接会場にお越しください)

連絡先：防災塾・だるまホームページ
<http://darumajin.sakura.ne.jp/>



神奈川大学